

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒216-8511
住 所 川崎市宮前区菅生2丁目16番1号
氏 名 学校法人 聖マリアンナ医科大学
理事長 明 石 勝 也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項（同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 聖マリアンナ医科大学		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 宮前区菅生2丁目16番1号		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	○	教育、学習支援業
	中分類	81	学校教育
主たる事業 の内容	大学及び病院		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	9,435	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- 1 法人全体基本方針 次の2つの方針より、積極的な地球温暖化対策を進めている。

(1) 地球温暖化対策に関する取組を組織的に行い、継続的に対策を推進する。

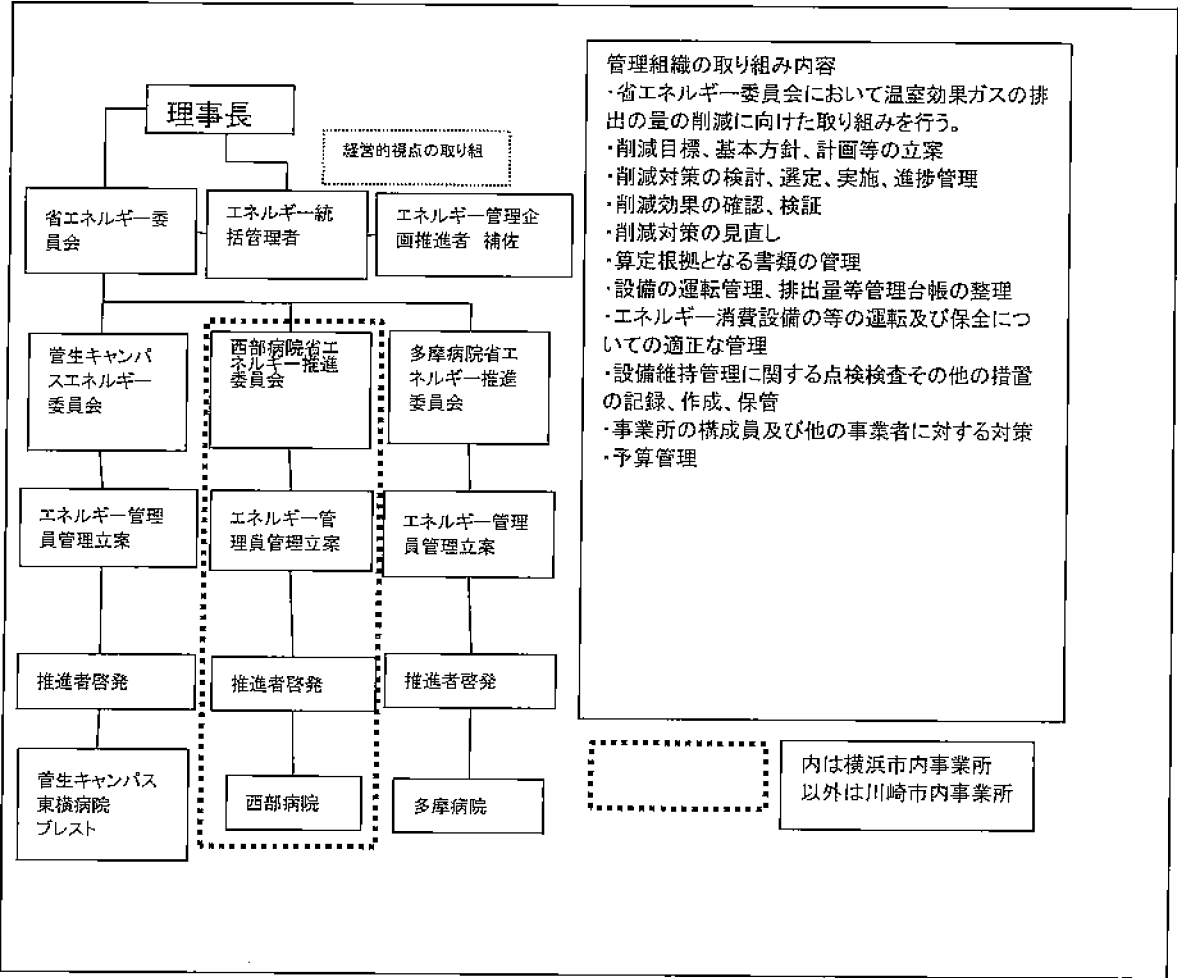
(2) 目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
- 2 市内事業所

市内に法人があり他の市内事業所（非指定工場）を含む管理を法人全体の基本方針に基づき行っているため特に定めない。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

適切な進行管理を行うため、毎年度自己評価し省エネルギー委員会に報告する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
基 準 年 度		2018		年度	
目 標 年 度		2021		年度	
基 準 排 出 量		(実) 17,544 (調) 17,791	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
目 標 排 出 量		(実) 17,018 (調) 17,257	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
削 減 量		(実) 526	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
内 訳	対策実施による削減量	(実) 526	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削 減 率		(実) 3.0	%	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		延床面積			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /千㎡			
基 準 年 度 の 値		117.6			
目 標 年 度 の 値		114.1			
削 減 率		3.0		%	

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、排出量原単位の値を年平均で1%以上削減することを前提に目標を設定した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

年平均1%の削減を目標とする。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。）

計 画	1 照明のLED化を進める。 2 エアコン更新を毎年計画的に実施する。
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 （第3年度の報告時に記載）	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

大学でターボ冷凍機2台、ヒートポンプチャラー6台を高効率タイプに更新した。 各事業所で計画的に蛍光灯照明をLED照明に交換している。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太陽光	○	予算不採用
風力	○	予算不採用
バイオマス	×	
未利用エネルギー	○	予算不採用
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
空調用ヒートポンプチャージ	規模：125kw 導入場所：別館 性能：COP4.5	平成24年度
空調用ヒートポンプチャージ	規模：85kw 導入場所：難治研 性能：COP3.97	平成26年度
空調用ヒートポンプチャージ	規模：85kw 導入場所：難治研 性能：COP3.97	平成29年度
空調用ヒートポンプチャージ	規模：49kw 3台 導入場所：医学部 性能：COP3.26	平成29年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	1. ライトダウンの参加 2. 法人単位でのクールビズの実施 3. CCかわさきに参加 4. 省エネチェックシートの活用 5. 廃棄物の減量化と分別収集を推進
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	17,544	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

9,435	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

3

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
学校法人 聖マリアンナ医科大学	川崎市宮前区菅生2丁目16番1号	15,631 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
聖マリアンナ医科大学東横病院	川崎市中原区小杉町3-435	1,627 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂